



仙台地本「第42回定期地方委員会」

委員会宣言

委員会宣言 (案)

本日、JR東労組仙台地方本部は「第42回定期地方委員会」を開催した。22春闘を勝利するために「ベア要求満額獲得」「定期昇給完全実施」「年功賃金・生涯賃金の減額反対」「ジョブ型雇用の導入に反対」を掲げ、JR総連方針に基づいたベア一律6,000円の要求と共に全組合員が方針貫徹に向けて職場からたたかいをつくり出す方針を満場一致で確認した。

JR東日本が発足して以降、定期昇給（昇給係数4）を維持してきたが、21春闘ではコロナ禍による業績不振を理由に昇給係数2とされた。私たちはこの悔しさを忘れず、21春闘敗北の総括から運動を点から線にするための議論を展開してきた。個で終わらせることなく夏季手当や期末手当交渉、今迎えている過半数代表選挙、そして22春闘へ繋げ、更に立体的な運動へと展開していく。職場活動に重点を置いた方針を具体的に構想して実践し、生み出された教訓を幾重にも積み上げてたたかうことで私たちは明るい未来を具体的に作り出すことができる。また、職場を起点に全組合員が運動を担うことで組織強化を導き出し、新生JR東労組の更なる成長と団結を生み出す。苦境においても決して諦めることなく、22春闘を全組合員でたたかい抜いていこう！

過半数代表者選挙のたたかいは佳境を迎えた。これは意識的にも存在的にも本意の労働者の代表を選出する事であることは言うまでもない。会社が大きく変革を進める中で表れた、反発する自らの心の本音を託せる社員の代表には誰が相応しいのか。現場第一線の視点を持った真摯で実直な意志は、未来の姿を歪ませず正方向へ導き、その堅実な姿勢を示せば必ず心は託されると証明された。これまで積み上げてきたたたかいは間違いなく正しい判断を得られる。そのたたかいに自信と確信を持ち、最後の最後まで諦めずに向かいていこう！

「変革2027の実現に向けた組織の再編」「現業機関における柔軟な働き方」等、多くの施策に対し職場から声を挙げて不安や不満の解消に向けて議論を展開した。施策が具体化されず、先が見えない中でも理想の職場を創造し、雇用と利益を守る運動を愚直に展開していこう！職場では施策に対する不満や不安が蔓延している。対話と議論を通じて相手の芯を掴み価値観をぶつけ合うことで将来の姿を見出せる。22春闘と共に総合労働条件改善のたたかいを職場の力でたたかい抜き、現場で汗する組合員の現実の声を交渉に反映し、施策と現実我真摯に向き合い自らの要求を実現させていこう！

仙台地本はJR東労組に結集する意義や必要性を議論し伝え、再加入及び新規加入する仲間を増やしてきた。JR東労組組合員の人間性や、仲間の存在と大切さは揺るぎない財産である。全組合員の総力で「新生JR東労組運動宣言」を深化させ、組織を更に強化し、将来の職場は私たちの手でつくるという気概を持ち続け、雇用と利益を守り、更なる発展のための議論を加速させよう！

以上宣言する。

2022年2月20日
東日本旅客鉄道労働組合仙台地方本部
第42回定期地方委員会

新生JR東労組運動宣言を基礎に雇用と生活を守り抜こう！